

施設便りに加え、シニアライフを豊かにする地域の情報をお届け♪

みかんの丘 たより

第26号

河内福祉村

発行 社会福祉法人 陽光「みかんの丘」

- ・特別養護老人ホーム・デイサービスセンター
- ・居宅介護支援事業所・ショートステイ
- ・地域交流センター「夢見館」



2016年1月

写真提供：熊本市西区役所 芳野分室 室長 北野洋治様



New year's greetings 2016

年頭のごあいさつ

みかんの丘 施設長

池尻 久美子

新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては。穏やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。年頭に当たり、ご挨拶を申し上げます。

昨年中は、ご利用の方々やご家族様そして地域の皆様より、暖かいご支援やご理解を賜り厚く御礼申し上げます。昨年は、介護報酬改定をはじめとした介護保険制度改正等々、私どもの業界を取り巻く状況は、大変厳しいものでしたが、その中でも皆の努力のおかげで自立支援介護を推進し、苦節3年ようやく日中オムツゼロも達成することができました。私たちは終の棲家である特養

ですが、その限りある時間を少しでも、いい状態で、そして元気にすごしていただきたい、その一心で取り組みを続けてまいりました。その経過としては本当に大変でしたが、入居者様と職員が目標をもって頑張ってきたことがこの結果につながったのだと思います。さて今年は、60年に一度の「丙申」の年。頑張ってきた努力が形になり、そして、2017年へと続く変革期となる年といわれています。時代の情勢を見極め、地域ニーズにそったビジョンを持って、自立支援介護を更なる「形」とできるよう、職員一同一生懸命努力してまいりたいと思います。

最後に、皆様方にこれからもご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様方のご健勝をご祈念申し上げまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

第26号

豊かなシニアライフを応援する知っ得広報紙

2016

ココロもカラダも元気になれる場所

地域のみなさまに支えられ、みかんの丘も開設十二年目。

みんなが元気になれる場所～こころもからだも～を

コンセプトに本年も明るく、元気に頑張ります！



東 ユリ子 さん
大正9年9月15日生



吉村 数清 さん
大正9年3月26日生



今年の抱負

今よりもう少し頑張って楽しくいきます。

96歳になりました。

ここまで元気に過ごしてこられたのは

家族や周りの人のおかげと感謝しております。

これからも元気で皆様に迷惑かけないように頑張っていきたいと思います。よろしくお願ひします。

今年の抱負：

健康に一年を過ごす。

家族や周りの人のおかげでここまで元気にこれまで。

みなさんに感謝です。

社会福祉法人 陽光 みかんの丘

〒861-5348 熊本市西区河内町白浜字堀切 1440-2 TEL 096-278-4055 FAX 096-278-4056 担当：江副



「みかんの丘」昨年の取組みと成果のご報告

年頭のごあいさつ

金澤 剛
みかんの丘
理事長

明けましておめでとうございます。
今年の干支は申年。それも丙申のようですね、うし、とら～」といった十二支で申。

みかんの丘では、「ココロもカラダも元気になれる場所」をコンセプトに、**自立支援介護**の実践に取組んであります。その根本として一人一人のご利用者の不安や夢に寄り添い、**目標達成へのモチベーションを共有しながら『ティ』、特養、共にスタッフ一丸となつて、サポートを行つております。平成27年の私たちの取組みと成果をご紹介いたします。**

【デイサービス】

昨年は、自立支援の取り組みを始めて2年目となり、楽しみながらハビリが出来る施設として、定着してきましたと感じる一年であります。ご利用者の中では自立支援の考え方が芽生え、ご利用者自身が不安に感じておられる衰えに対して、有効なトレーニングを選択し活動される方がとても多くなりました。準備されたメニューをただこなすのではなく、「手が震えるから豆移しのトリムを行う」や「心肺機能や記憶力を意識してカラオケを行う」など、楽しみながら自然に元気になるサイクルを、ご利用者自身が意識し取組まれています。また、このような意識が生まれてきたことで、ご利用者から様々な声をいただき、同調するように様々なトリムも生まれ、トレンジングマシンと両輪で、効率よく元氣づくりが行われるデイサービスになつてきました。本年もご利用者の衰えへの不安や目標に寄り添い、共に向き合い施設内行事だけではなく、地域行事にも積極的に参加することができます。

「トリム」や「みかんの丘通貨」で、楽しみながらハビリ♪



デイサービス 今年の抱負

みかんの丘に来れば心身ともに元気になれる、みかんの丘に来てよかったといつていただけるよう、デイサービスのスタッフ一同で頑張っていこうと考えておりますので、本年もどうぞよろしくお願い致します。

また、その年は「もはや戦後」ではない、との言葉がはやった年でもあります。時は「太陽族」、そして石原裕次郎が全盛期の頃。日本が国際連合に加盟したのも確かこの年であったはずです。
それから60年。さて今年は丙申の文字からくる「うらない」によるこれまで日の目を見なかつた事が形となり現れる年であると言われる年のようです。
今年の私どもは占いの言を借りて「自立支援介護」を形にする年にしたいものです。

確かに昨年までの私どもの努力はあと一步で形となるところまで辿り着いてはいます。そこであと一步を踏み出すことにより形として表していくたいと思います。その形とは何なのかは今は不明ではありますが、その形のイメージは2方向から光りがあたっています。その一方は国が盛んに言っている「地域包括ケアシステム」と呼ばれる具体的「地域づくり」の方向。また一方は自立支援介護の論としても技術として人に伝えることが出来るまでの完成です。
この方向が違う2種類の作業を私どもは本年日の目があたるよう磨きあげたいものです。

本年も頑張りましょう。

【特別養護老人ホーム】

①外出企画・地域行事参加

外出企画を増やし、入居者の皆さんに楽しみを提供できるよう職員が率先して外出行事を企画致しました。買い物や外食、あじさい見学や日帰り温泉などを実施し、多くの方に喜んでいただけました。また、施設内行事だけではなく、地域行事にも積極的に参加することができました。

②自立支援介護の実践

みかんの丘では科学的根拠を背景とした、自立支援介護の実践を行っています。排便をオムツではなくトイレでの自然排便を行えるようになることや、常食への取り組み、認知症状の軽減など日々取り組んでいます。その根本としてご利用者の夢に寄り添い、目標達成へのモチベーションを共有しながら自立支援を行っています。昨年は、取り組みについての研究発表にて、全国でも高い評価をいただきました。
9月からは入院者もなく、すべての入居者の皆さんと楽しく過ごすことができました。これからも元気によく過ごして頂けるよう努めています。

③入居者の入院減少

日々、入居者皆さんの体調や状態をしっかりと把握し、元気に過ごしてもらえるよう基本ケア（水分・食事・排泄・運動）を基に自立支援介護に取り組んでいます。9月からは入院者もなく、すべての入居者の皆さんと楽しく過ごすことができました。これからも元気によく過ごして頂けるよう努めています。



基本ケアを徹底し、良好なリズムを保ち機能向上を目指します！



特養 今年の抱負

現在行っている自立支援介護の知識を地域の方に発信できればと考えています。
在宅で生活しながらも認知症の症状や排泄ケアなど、ご家族の負担が大きい部分を軽減できる施設になっていきたいと考えています。

平成27年度 全国老人福祉施設研究会議にて、
私達の自立支援介護の取り組みについて発表を行い、

2例が『奨励賞』を受賞致しました！

審査員の方々からも、『おそらく一人一人の介護にこだわりを持って、丁寧な介護をされているのだと思う。利用者の方に寄り添いながら、無理なく自然にいろいろな支援をされている。更なる拡大をチャレンジして頂きたい。』と激励のお言葉をいただきました。ビジョンをもって職員みんなで積み重ねてきたことが形となり、このような賞をいただく事ができ、私たち自身が励まされ、自信につながる経験をさせて頂いたと思っています。今後も現状に留まることなく、ご入居者の皆様によりよいケアを提供出来るよう、取り組んで行きたいと思います。